

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年													
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~7日	12月 ~14日	12月 ~21日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6	6 (7)	1
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	13	18 (23)	9
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	2	3	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	4	4	1
腸炎ビリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0	0	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和7年第51週(12月15日～12月21日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1	1	1	1	4		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	2	レジオネラ症	2					1		1
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1					
		急性脳炎	1				1			
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	3					2		1
		百日咳	9		1			3		5

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町

北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覗ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和7年51週(12月15日～12月21日)

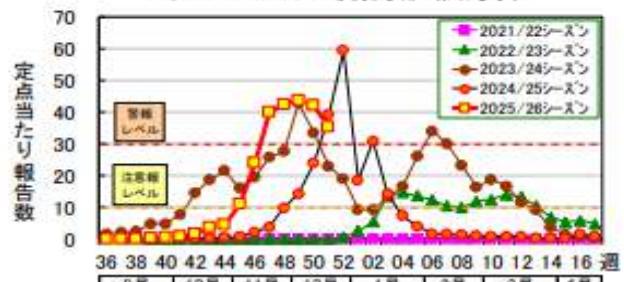
■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり35.34人の報告がありました。減少傾向ですが、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回っており注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が58件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第51週 A型:185人、B型:6人

インフルエンザの流行状況(広島市)



2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.74人の報告があり、前週より増加しました。昨年は、年末から1月にかけて増加しており、注意が必要です。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり3.36人の報告がありました。12月に高齢者関係施設等から感染性胃腸炎の集団発生が2件報告されており、そのうち1件はノロウイルスによるものでした。例年冬季に増加する傾向があり、注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2714	77.54	/	△	小児科	突発性発しん	5	0.23	0.17	
	インフルエンザ	1237	35.34	12.42	△		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.23	
	新型コロナ(COVID-19)	26	0.74	/	△		流行性耳下腺炎	-	-	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	13	0.59	0.08	△	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	13	0.59	1.43	△		流行性角結膜炎	2	0.25	0.73	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.41	1.63	△		細菌性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	74	3.36	6.30	△		無菌性結膜炎	-	-	-	
	水痘	9	0.41	0.27			マイコプラズマ肺炎	12	2.00	1.03	
	手足口病	5	0.23	0.91			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	8	0.36	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
増減	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
微増減	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
横ばい	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均
(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	116	10歳代、70歳代・市外、80歳代、80歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	31	60歳代・O157
4	レジオネラ症	1	31	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	8	40歳代・エイズ
5	梅毒	2	146	20歳代、50歳代
5	百日咳	3	1032	10歳未満・1人、10歳代・2人